

後援会の「原点」を忘れずに

後援会会長 寺嶋 佳章 (A4・東京)



早いもので今年も年度末を迎え、慌ただしい毎日ですが、会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

二月二十日(日)に理事会が開催され、本年度の決算見込と来年度の予算案、特別事業についてご審議いただきました。

また、かねてより会員の皆様よりご質問の多かった学園創立百周年記念事業につきましては、一月上旬に、大川理事長と柳澤学長より正式に後援の依頼を受け、後援会を代表して、全面的に協力をして参る意思を告げた次第であります。事業内容は、IT時代に相応しい技術を持った学生を育てる環境の更なる向上を目的として、図書館・情報複合施設「百年記念館(仮称)」を建設するということで、学生にとってキャンパスライフの拠点となる素晴らしい施設になるであろうと期待しております。無

論、この施設が完成するころにはご卒業されてしまう学生諸君も多数おられるわけですが、現在利用されている立派な施設設備も、これまでの先輩方のご尽力あつてのもので、何卒ご理解ご協力のほどお願い申し上げます。

さて、先日の理事会において新潟支部の山賀支部長より、この度の新潟県中越地震に際し、たくさんの方の励ましの言葉や義援金をいただいたことに対するお礼の言葉と被害状況などをご報告いただきました。また、被災地では、十九年ぶりの豪雪に見舞われ、更なる困難を強いられているという状況を伺い、何とも言葉がありません。後援会の活動をしておりますと、日本全国の方々と親しく交流させていただく機会に恵まれ、各地のニュースが他人事ではなく感じられます。そしてこれらの出会いは私の人生の宝です。

今後後援会会則の第三条(目的)にある「大学を後援し、その興隆発展に寄与するとともに会員相互の親睦を図る」という後援会発足の原点を忘れずに、活動を続けて参りたいと思っております。

新入会員説明懇談会を開催

一月二十二日から三月十三日にかけて、下記の日程で「新入会員説明懇談会」が開催されています。

この会は、四月の新入学を前にして、ご父母の皆様々な不安を少しでも解消して行つていくもので、「地域別教育懇談会」と並んで支部の一大事業です。同じ父母の立場であるからこそ、きめ細やかなアドバイスができるという後援会のメリットが大いに活かされており、参加された新会員からも好評を得ています。



▶千葉県支部主催会場の様子

●平成17年度新入会員説明懇談会日程●

開催日	主催支部	開催会場	大学側出席者
1月23日(日)	近畿	ホテルニューオウミ	渋谷総務課長
"	蔵王	オーヌマホテル	倉島経理課長
"	千葉県	学友会館	磯経理課主任
"	新潟県	長岡グランドホテル	栗本教務課長
1月30日(日)	北陸	メルバルク金沢	日下部教務課主任
"	青森県	ホテルアラスカ	渋谷総務課長
"	福島県	清稜山倶楽部	松本入試室課長
"	東中国	津山国際ホテル	吉見就職課長
2月5日(土)	秋田県	協働大町ビル	藤田総務部長 京野学生課長
2月6日(日)	群馬県	マーキュリーホテル	栗本教務課長
"	静岡県	静岡商工会議所会館	倉島経理課長
"	岩手県	サザンパレス	藤田総務部長
"	茨城県	三の丸ホテル	高田学生課主任
2月27日(日)	長野県	佐久平プラザ21	入山学生課主任
3月6日(日)	西中国	広島グランドインテリジェントホテル	渋谷総務課長
3月13日(日)	栃木県	ホテル丸治	林総務課主任
"	山梨県	ホテル春日居	渋谷総務課長

理事会報告

二月二十日(日)、大学の情報棟会議室において平成十六年度四回目の理事会が開催されました。北は青森から南は沖縄まで全国から六〇名の理事が出席。議事は①平成17年度理事銜衡について、銜衡委員長に青木財務を選出②平成16年度予算執行状況について報告③平成17年度特別事業については、大場委員長より二回の特別事業委員会を経ての報告があり、来年度は「オート

バイ駐輪場の防音屋根設置」の事業を行うことで承認されました。④平成17年度予算案を上程、承認されました。⑤学園創立百周年記念協賛事業については、藤田総務部長より図書館・情報複合施設である「百年記念館(仮称)」建設についての事業概要が説明され、理事会の了承を得ました。会員の皆様には、四月一日発行の日工大通信をご覧いただくとともに、五月の定期総会においても詳しくご説明をさせていただきますので、何卒ご理解とご協力をお願い申し

支部だより

尊重と信頼のこころ

副会長 北原 周子
(M4・東京)



私が日本工業大学後援会理事をお受けして三年目、思いもかけず昨年度は本部総務、また今年度は副会長という大役を頂き、おかげ様でここまで無事その任を果たすことができました。大学関係者並びに後援会関係者の皆様の、温かいご理解とお力添えに心より深く

▲茨城県支部総会にて小池元支部長に感謝状を贈呈する北原さん



感謝申し上げます。

後援会の大きな事業の一つである地域別教育懇談会では、二年間に岩手・茨城・秋田・福島の四支部におじゃまをさせて頂き、大変お世話になり有難うございました。これらの経験は、戸惑いと挑戦との連続でしたが、先輩方から受け継いだ後援会の「思いを伝える」メッセージャーとしての役割を担うことができたのは、うれしいことでした。この機会に大学や後援会、支部の歴史等について多くを学ぶこともできました。また、各支部の皆様のご苦労や活動の様子を直に見聞きしたり、大学の先生方の熱心なお考えをお聞かせ頂けたのも収穫でした。耳慣れない最初は外国語の世界に紛れ込んだかと思う場面もありましたが、それぞれのお国言葉での親睦には熱さや温もりがこもり、皆様日工大

でお目にかかる時より生き生きしているようでした。私も楽しくお仲間に入れて頂き心強い気持ちで一杯になりました。状況は違っても親の思いというものは皆同じだと感じました。また、はるばるご出張くださった先生方のおかげで、地方と大学が確かに繋がっているという実感を持つことができました。支部主催の地域別教育懇談会に、会長の代理として出席する貴重な機会を与えられたことを有難く思います。

四支部以外の皆様とは、大学の理事会や年二回学外で行われる泊りがけの理事会の折などに、奥様共々親しくなり大いに刺激やインスピレーションを受けました。同じ親として、子供の成長と母校の発展とをひたすらに願いながら、どれだけご期待に応えることができたかはわかりませんが、多

くの皆様と関わりを持ちながら夢中で歩んで来れたことは、私の大きな宝となりました。

今後も会員、理事、支部、また大学と後援会が相互に尊重し合い、信頼し合える良好な関係であり続けることを祈っております。そして私達の子供達が、自らの手で未来を切り開き、人様のお役に立てる人に成長していつてくれることを切に望んでおります。

後援会事務局の皆様、本当にお世話になり有難うございました。

千葉県支部の灯を消さないで！

千葉県支部副支部長 細天とき子
(S4・千葉)



千葉県支部は「女性が元氣な支部」で有名です。そこで、女性を代表して支部活動について報告させていただきます。

千葉県支部は平成九年に十九番目の支部として誕生しました。支部を立ち上げるには大変な情熱とエネルギーが必要だったと思います。今も小川相談役をはじめ、設立当時の役員の皆様から強い後押しをいただいています。

▲工友会支部と合同での支部会員交流会では童心に返って「すたて遊び」



私は、四年前に「新入生大学説明会」に出席し、役員の皆様のはつらつとした元氣さに圧倒され、役員の仲間入りをしました。役員会では先輩のアドバイスや今までと違う世界の話が興味深く、出席するのが楽しみになりました。

千葉県支部では年二回会報「わかしお」を発行しています。編集者である小堀相談役を中心に、原稿を作るのも大変ですが、約二百人の会員への発送作業も大変です。しかし、この発送作業を通じて役員同士の絆も強くなっているように思います。

また、平成十四年に工友会の全国大会が千葉県で開催され、「すたて遊び」にお誘いをいただき、以降、工友会と一緒に毎年「支部会員交流会」として開催しています。昨年も神馬前学長のご家族や歴代役員も参加され、東京湾アク

▶福島県支部教育懇談会にて機械工学科の皆さんと一緒に



アラインの下で童心に返って網で魚を追い回し、楽しい一日を過ごしました。

支部最大の行事である「地域別教育懇談会」は、出席率が低く、どうしたら参加者が増えるか悩んでいます。今年は千葉県庁隣のホテルで開催する予定です。今年こそ大勢の父母に参加していただき、終了後は学長はじめ先生方を囲み盛大な懇親会を開きたいと期待しています。

「新入会員説明懇談会」は例年どおり一月に学友会館で開催しました。校内見学の後、在校生の協力を得たアルテリーベでの懇親会はとても盛り上がり、新入会員から「親同士和やかに話ができてよかった。」という感想をいただき、役員一同大喜びをしました。

千葉県支部は現役の役員が年々減少し、卒業後も多くの父母に相談役として協力いただいています。



▶毎年、試行錯誤の地域別教育懇談会

◀新入会員説明懇談会での記念撮影



す。千葉県支部の灯が消えないよう、現役の父母の皆様ぜひ参加してください。そして、千葉県支部は五周年記念に校内に植樹した「やまもも」のようにしっかりと根を張り、枝を伸ばしていきたいと思えます。

まさかのさか

新潟県支部事務局 齋田重美子
(M2・新潟)



皆さんは「さか」と聞いて何を思い浮かべますか？登り坂、下り坂、オランダ坂、いろは坂、いろはありますね。さかは坂でも

「まさか」のさか程こわいさかはありません。まさか、この住み慣れた地(三条市)が「新潟県中部」「水害」により、思いもよらない被害に遭おうとは、夢にも思いませんでした。毎日毎日、ドロとゴミ(本来は大切な財産との戦いの復興の中で、抜群のタイミングで地響の準備が重なりました。汗と涙のミックスジュース、どこの自販機でも売ってはいません。サインを鳴らしながら、全国各地からの消防車や救急車が列をなし走ってくる様子には、ありがたうと頭をさげて見送り、勇気づけられたりもしました。そして途方にくれて国道に座り込んでいた私の目に、「さいたま市消防局」の文字が飛び込んできました。その時の嬉しかった事。なんであんなに嬉しかったのか、今思うと不思議なくらいです。息子が進学してから、



▶勇気をもらったさいたまの消防車

ニュースでさいたまの事件が報じられると、食事の箸が止まり、買い物では、さいたま産の表示が目にとまり足が止まり……。

そしてもうひとつの「まさか」は、十月二十三日の新潟県中越大地震。震源地が小千谷市とニューアス速報がでた時、支部長(小千谷市)の身を案じ、また隣接する市町村に住んでいる役員がどんな状態にあるのか、すぐに連絡をとろうとしたのですが電話はつながらず、結局役員全員の安否・被災状況の確認がとれたのは、三日後の事でした。度重なる余震に怯えながら、自信を持って地震はもう終わりだよ！と宣言してくれる人がいたらどんなにかいいだろう、と思いつながら、さて十一月二十日の赤倉山荘での役員会を予定どおりに行うか、延期したらいいのか、中止にするべきなのか、悩みまし



▶支部の役員は家族のような存在

た。でもこんな時だからこそ、集まる意味があるのではないかと考え、予定通り行いました。役員皆の無事をお互いに喜び、声高らかにカンパニーで飲みほしたビールが致しました。帰る時に、赤倉山荘のロビーに飾ってあった、オリヅラン。無理を言っていたランナーを分けて頂き大切に育てています。



す。寒さに負けず元気にスクスクと成長しています。時々あの役員会での、おひとりお一人の顔を思い出し、あらためてこの「緑」をありがたく受けとめています。

全国からのボランティア・義援金・あたたかい励まし、本当に有難うございました。今年には新潟から明るいニュースが発信出来るように、と願っております。

秋田県支部総会開催

秋田県支部の総会が、新入会員説明懇談会と同日の二月五日(土)に「協働大町ビル」において開催されました。新支部長には木村鉄二氏(A3)が選出され、飛田敏前支部長には、寺嶋会長より感謝状が贈呈されました。

●大学の新運営組織がスタート

一月一日発行の日工大通信に掲載のとおり、大学の運営組織が見直され、「教育研究推進室」が新たに設置されました。同室長には建築学科の波多野純教授が就任。それに伴い、建築学科主任には成田健一教授が就任しました。

また、一月一日付けで原 利次教授が副学長に就任、新たに生まれ変わる企画室の室長も兼務することになりました。

●「合同新春懇親会」盛大に

一月九日(日)、東京都恵比寿のウエスティンホテルにおいて、恒例の後援会十友会・宮代会合同の新春懇親会が開催されました。大川理事長、柳澤学長他、大学教職員の皆様も臨席され、計百名の参加者が新年の始まりを祝しました。

●竹内淳彦教授「最後の講義」

この三月末日で定年退職を迎えられる共通系の竹内淳彦教授が、一月二十一日(金)、公開で最後の講義を行いました。テーマは「日本産業の行方と若者たちの明日〜環境共生とグローバル化の中で考える〜」。会場となった学友会館ホールには、学生や教職員を始め、他大学からも聴講に訪れました。講義後には、たくさんの方々が贈呈され、華々しい最終講義となりました。竹内教授は、学生部長、図書館長を歴任され、後援会活動にも格別なご厚情を賜りました。心より感謝申し上げます。

●第24回「成人記念講演会」

一月二十四日(月)午後六時二十分から、学生自治会主催による第二十四回成人記念講演会が学友会館で開催されました。

今年の講演者は、吉本興業の「木村祐一」、「タカアンドトシ」と「トータルテンボス」のお笑いグループ3組。満席となったホールは、明るい笑い声に溢れ、成人を迎えた学生諸君を祝いました。

●箕輪工業高校が大学視察

昨年本学と教育協定を結んだ長野県の箕輪工業高校の教職員ら二十三名が、二月十六日(水)に大学を訪れ、学内を見学しました。

●小雪舞う「天満宮例祭」

二月十九日(土)、大学敷地内にある天満宮境内において例祭が執り行われました。寺嶋後援会長(天満宮景敬会副会長)も列席し、昨年のほかほかの春の陽気とうって変わって小雪が舞う中、学生諸君の安全と学業成就を祈念しました。

●新潟県中越地震に対し見舞金

新潟県の中越地震により被害を受けた十名、および昨年夏、同じく新潟県において豪雨による水害を受けた三名に対し、後援会より見舞金を贈呈しました。また、各支部からも新潟県支部に対し義援金が寄せられ、被災家庭に分配されました。これらを受けて、新潟県の出賀支部長より、二月の理事会において、御礼の言葉と被災状況の報告をいただきました。

後援会行事抄

平成十六年十一月三十日(火) 後援会会報第六十七号発行

平成十七年一月九日(日) 大学・後援会・工友会・宮代会合同新春懇親会(ウエスティンホテル 東京)

一月一日(土) 原 利次システム工学科教授が副学長・企画室室長に就任。教育研究推進室が新設され、波多野純建築学科教授が室長に就任。成田健一教授が建築学科主任に就任。

一月二十三日(日) 近畿支部新入会員説明懇談会(ホテルニューオウミ)、蔵王支部新入会員説明懇談会(オーヌマホテル)、千葉県支部新入会員説明懇談会(学友会館)、新潟県支部新入会員説明懇談会(長岡グランドホテル)

一月二十四日(月) 成人記念講演会(学友会館)

一月三十日(日) 北陸支部新入会員説明懇談会(メルパルク金沢)、青森県支部新入会員説明懇談会(ホテルアラスカ)、福島県支部新入会員説明懇談会(清稜山倶楽部)、東中国支部新入会員説明懇談会(津山国際ホテル)

二月五日(土) 秋田県支部総会・新入会員説明懇談会(協働大町ビル)

相談票

学科学年	
学籍番号	

生 氏名	TEL
会 員 名	
連 絡 先	

相談票をご利用下さい

後援会では会員各位にこの相談票を通して、いつでも学生の成績・生活・就職等のご相談に応じられる窓口を開いています。右の票(便箋、ハガキでも結構です)に相談されたい事項や、ご意見・ご希望等をご記入の上、事務局宛にご送付下さい。可能なかぎり回答します。
 (ご意見・ご投書) 寄稿もどしどしお寄せください。(事務局)

二月六日(日) 群馬県支部新入会員説明懇談会(マッキーリゾートホテル)、静岡県支部新入会員説明懇談会(静岡商工会議所会館)、岩手県支部新入会員説明懇談会(サザンパレス)、茨城県支部新入会員説明懇談会(三の丸ホテル)

二月十九日(土) 天満宮例祭、サードビルセンター連絡協議会

二月二十日(日) 役員会・理事会・特別事業委員会

二月二十七日(日) 長野県支部新入会員説明懇談会(佐久平プラザ21)

三月一日(火) 留学生別科修了式

三月六日(日) 西中国支部新入会

討 報

神奈川県理事の吉田盛和さんが十一月二十七日にご逝去されました。(享年四十五歳)故人の本会に対するご厚情に深く感謝申し上げますとともに、謹んで哀悼の意を表し、心よりご冥福をお祈り申し上げます。